

平成6年度事業の概要

1 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

区 分	実 物 資 料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写真及び写真	図 板	計
地 学	383 点	30 点	11 点	48 点	472 点
生 物	954	90	67	38	1,149
歴 史 ・ 民 俗	724	32	91	52	899
美 術	417	—	—	5	422
合 計	2,478	152	169	143	2,942

(1) 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を各種の模型で展示。
- 郷土の生いたちについて岩石や化石などによって解説。
- 本県及びその周辺で産出した化石と各地質時代の化石（三葉虫、アンモナイト、タルボサウルほか）の展示。ナウマンゾウとインドゾウの全身骨格とゾウの進化に関するコーナーを設置。
- 古生物を中心にした各地質時代の景観復元ジオラマ7景。
- 本県で産出した有用鉱物を中心として、基本的な鉱物（水晶、方解石、ザクロ石、黄鉄鉱等）を展示。
- 砂丘風紋を中心とした微地形の展示。
- 紫外線の照射による蛍光鉱物の発光実験。
- 各種ウラン鉱の展示。
- 砂丘と大山の地質的特徴とその生成発達を解説展示。
- 人類の進化についてレーザーディスクによって解説。
- 館蔵資料紹介コーナーを設置。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 岩礁の生物と生態と分布を解説展示（ジオラマ）。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- ハチュウ類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオの発育過程と飼育の展示。
- 池の生物の生態展示（ミニジオラマ）。
- 水生小動物の飼育展示。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。

- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。
- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動や植物の生育環境をレーザーディスクによって解説。

<自然資料紹介コーナー>

- 新しく収蔵した鳥類剥製 平成6年4月12日（火）～5月29日（日）
- カブトガニ 平成6年5月31日（火）～7月24日（日）
- 昆虫の世界 平成6年7月28日（木）～9月4日（日）
- 県外からやって来た淡水魚 平成6年9月6日（火）～10月30日（日）
- 先カンブリア時代の生物 平成6年11月1日（火）～12月25日（日）
- ワシントン条約の動物Ⅰ 平成7年1月5日（木）～2月19日（日）
- ワシントン条約の動物Ⅱ 平成7年2月21日（火）～4月2日（日）

(2) 歴史・民俗展示室（515㎡）

<狩猟から農耕へ>

- 縄文時代の遺物（土器、石器、骨角器）と生活の解説展示。
- 弥生時代の遺物（青銅器、土器、石器）及び文化交流などの解説展示。

<古墳とその時代>

- 古郡家1号墳・徳楽古墳をはじめとする古墳の一括資料の解説展示。
- 本県で出土した須恵器の分類展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土はにわ等本県で出土した代表的なはにわの展示。
- 銅鏡、各種玉類、武具、馬具などの展示。
- 梶山古墳彩色壁画のカラー写真パネルと出土遺物の展示。

<奈良・平安の因伯>

- 古廃寺出土の軒丸瓦、仏足、瓦経などの展示。
- 伯耆国分寺跡出土の風鐸の展示。
- 経筒等経塚出土品の展示。
- 国宝三徳山三仏寺投入堂模型（10分の1）。
- 因幡国庁出土の墨書土器緑釉陶器等の展示。
- 平城宮出土の木簡（レプリカ）の展示。
- 伊福部徳足比売骨蔵器（レプリカ）の展示。
- 時範記（複製）等の展示。
- 国宝・伯耆一宮経塚出土の経筒（レプリカ）の展示。

<戦乱の時代>

- 因伯の荘園と武士団の分布図及び伯耆国河村郡東郷庄下地中分図（模写）の展示。
- 中世遺跡出土、青磁香炉、青磁盤等の展示。
- 山名時代安堵状（複）・足利義政御教書（複）・室町幕府引付頭人奉書（複）等の展示。
- 布施天神山城出土の陶磁器片の展示。
- 梵鐘二口（廃阿代寺、国英神社）印賀宝篋印塔（レプリカ）の展示。

<土農工商の社会>

- 吉川元春寄進状・亀井茲矩書状等の展示解説。
- 鳥取城模型、鳥取城下図（模写）、鳥取城瓦など鳥取城関係の展示。
- 池田光仲肖像・書画をはじめ鳥取池田家の解説展示。
- 在方諸事控・万控帳など鳥取藩政資料の展示。
- （伝）家老籠・僧侶籠の展示。
- 歌人香川景樹の短冊・屏風等の展示。
- 鳥取藩の藩札と近世の貨幣などの展示。

<因州藩から鳥取県へ>

- 最後の藩主池田慶徳の肖像写真パネルの展示と解説。
- 因幡二十士事件等、藩から県に移行する時期の鳥取藩の動向の展示解説。

<生活の中の道具>

- 江戸時代末期から明治時代にかけて分布した広間型農家の一部を復元し、生活用具を配して展示。
- 稲作農具を稲作作業の進行にしたがって展示。

<伝え継ぐ心>

- 年中行事、県内の代表的な民俗行事を季節により写真と資料によって解説展示。
- 人形芝居、きりん獅子、郷土玩具などの芸能娯楽用具を解説展示。
- サイノカミさん等の民間信仰の展示。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子などの民俗行事をVTRによって紹介。

<歴史の窓>

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ●サイノカミさん | 平成6年3月15日～5月8日 |
| ●新着資料『南総里見八犬伝の世界』 | 平成6年5月10日～6月12日 |
| ●玉 | 平成6年6月14日～9月4日 |
| ●参勤交代図屏風 | 平成6年9月6日～10月16日 |
| ●参勤交代図屏風 | 平成6年10月18日～11月20日 |
| ●暖房むかし | 平成6年11月22日～12月23日 |
| ●年神と小正月の訪問者 | 平成7年1月5日～2月5日 |
| ●城下町と町人 | 平成7年2月7日～4月9日 |

(3) 美術展示室 (260㎡)

- 平安時代から室町時代の国・県指定の仏像・仏画を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風及び本県出身作家の作品を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビー等に展示。

主な展示資料 (○印は保護文化財)

<近世絵画>

遊 鯉 図	土方稻嶺	当館蔵	遊 亀 図	沖 一峨	個人蔵
狗 子 図	〃	〃	滝に燕図	沖 九臯	当館蔵
巖上双亀図	〃	〃	春野草花図	〃	個人蔵
葦間潜鯉図	〃	〃	東方朔図	島田元旦	〃
花下麝香悠々図	〃	〃	寿老草花花鳥図	〃	〃

○東方朔図	土方稻嶺	当館蔵	江村幽居図	島田元旦	当館蔵
虎 の 図	〃	〃	青緑山水図	〃	〃
林和靖図愛鶴図	〃	〃	雪中山水図	〃	個人蔵
鶴 之 図	〃	〃	秋景山水図	〃	当館蔵
山水花鳥図屏風	〃	〃	醉李白図	〃	〃
巖上猿之図	〃	〃	青緑山水図	〃	〃
牡丹小禽図	〃	個人蔵	仙境雅会図	〃	〃
双 鶴 図	〃	当館蔵	花 鳥 図	〃	個人蔵
滝に鳩図	〃	個人蔵	東海道道中図屏風	〃	〃
猿鹿図屏風	〃	〃	楊貴妃図	〃	〃
牡丹猫図	〃	〃	四季花鳥図	〃	〃
牡丹孔雀図	〃	〃	梅 鶴 図	片山楊谷	当館蔵
芭蕉蝸牛図	〃	〃	猛 虎 図	〃	個人蔵
滝に鳩図	〃	〃	老松双鶴図	〃	〃
群 鯉 図	黒田稲皐	当館蔵	菊慈童図	〃	当館蔵
○群鯉遊泳図屏風	〃	〃	楊貴妃図	〃	個人蔵
群 鯉 図	〃	〃	楼閣山水図屏風	根本幽峨	〃
鶉 之 図	〃	個人蔵	琴棋書画図屏風	〃	〃
鶴亀図屏風	〃	〃	内裏雛図	〃	当館蔵
小鳥の図	〃	〃	大黒七五三図	〃	個人蔵
遊鯉之図	〃	〃	瀑 布 図	〃	〃
四十雀の図	〃	〃	佐野の渡図	〃	当館蔵
花 鳥 図	〃	〃	白河入城図	〃	〃
遊鯉之図	小畑稻升	当館蔵	淡青緑山水図	〃	〃
鯉 之 図	〃	〃	日本武尊図	〃	〃
遊鯉図屏風	〃	個人蔵	耕作図屏風	〃	個人蔵
月に秋草図	沖 探容	〃	小松引図	〃	〃
芙蓉に群鴨図	沖 一峨	当館蔵	常盤雪行図	〃	〃
草蘆に三顧図	〃	〃	式部納言図	〃	当館蔵
龍 虎 図	〃	〃	女酒宴図	〃	個人蔵
舟 曳 図	〃	個人蔵	春園曉露	三枝真洞	当館蔵
韓信老古図	〃	〃	牡丹之図	牧野芝石	〃
松 の 図	〃	〃	富士秋景図	狩野探信	個人蔵
四季花鳥図	〃	〃			
<書 蹟>					
詠 草	戸田茂睡	当館蔵	後水尾天皇	和歌懐紙	当館蔵
裁 可 状	楠 正儀他	〃			
<宗 教 美 術>					
懸 仏		当 館 蔵	○狛 犬		個 人 蔵
擬 宝 珠		地 蔵 院	毘沙門天立像		〃

○大日如来坐像	長砂地区	蔵王権現像	観照院
○稻荷像	木喰上人 円谷地区		
<工芸>			
松下唐子螺鈿中次	当館蔵	虎溪三笑蒔絵棚	当館蔵
園遊人物螺鈿平卓	〃	舟遊螺鈿机	〃
牡丹雉子堆朱中次	〃	梅鴛鴦蒔絵小鼓箱	〃
染付網干文鉢	〃	四季草花蒔絵硯箱	〃
染付竹雪輪文皿	〃	流水鴛鴦蒔香合絵	〃
因久山焼兎形香合	個人蔵	流水桜蒔絵硯箱	〃
〃 南蛮切節写花生	〃	堆朱棗	〃
〃 蕎麦写茶碗	〃	山水楼閣蒔絵印籠	〃
染付山水紋銚子	〃	栗鶉蒔絵硯箱	〃
染付楼閣山水文四隅切皿	当館蔵	瓢箪雀蒔絵印籠	〃
染付日本地図大皿	〃	柘榴蝶蒔絵印籠	〃
因久山焼茶碗	個人蔵	菊水菱蒔絵花見弁当	〃
双龍蒔絵聞香炉	〃	雲風人物螺鈿八角食籠	〃
染付花籠文皿	当館蔵	京名所蒔絵鼓箱	〃
松竹椿橘鶴亀蒔絵阿古陀香炉	〃	蓬萊蒔絵印籠	〃
因久山焼陣笠形菓子鉢	個人蔵	備前焼壺	個人蔵
岩松橘沢瀉文蒔絵重香合	〃	備前焼壺	地蔵院
因久山焼茶碗	〃	因久山焼茶入	個人蔵
〃 緑釉大皿	〃	○伝亀井公将来染色布 雲龍	譲伝寺
浦富焼鉢	〃	○ 〃 立涌に孔雀文様打敷	〃
因久山焼刷目茶碗	〃	○ 〃 花禽獸文様壁掛	〃
不詳 白磁四耳壺	〃	染の型紙	個人蔵
因久山焼灰器	〃	○玉纏太刀拵	栲谿神社
〃 奉納陶額	〃	○梨地麒麟文太刀拵	〃
〃 雲竜染付茶碗	〃		
〃 松かさ形香合	〃		

(4) 近代美術展示室 (374㎡)

ア 「新しく収蔵した美術作品」

会期 平成6年6月7日(火)～7月17日(日)

<出品目録>

前田 寛治	静物	1923 (大正12)
	裸婦	1923 (大正12)
	女の顔	1925 (大正14)
	裸婦	1925 (大正14)
	フランス風景	1925 (大正14)
	風景	1925 (大正14)

	風 景	1928 (昭和3) 頃
	素 描	
福留 章太	作品3	1963 (昭和38) 頃
	ヒメゴボウラ貝による	1969 (昭和44)
	増幅する20	1976 (昭和51)
	アントロポス4	1980 (昭和55)
辻 晉堂	村 の 男	1941 (昭和16)
	寒 拾	1965 (昭和40)
	ボーシをかぶる女	1975 (昭和50)
	作 品	1966 (昭和41) 頃
	作 品 (two cup)	1966 (昭和41) 頃
	長い長い行列	1967 (昭和42)
	寒山拾得	1967 (昭和42)
	遠くを見ている自画像	1971 (昭和46)
	素 描	1965 (昭和40)
山本 兼文	女の立つ	1957 (昭和32)
	稲村三伯像	1959 (昭和34)
	少 年 像	1960 (昭和35) 頃
	戒 五	1962 (昭和37)
	加 行	1986 (昭和61)
	信 行	1988 (昭和63) 頃
瀬戸 浩	灰釉銀ストライプ壺	1992 (平成4)
	双	1993 (平成5)
濱田 台兒	溪	1954 (昭和29)

イ 「前田寛治の画業」 (一階の美術展示室を使用)

前 期 平成6年8月9日(火)～9月11日(日)

人物画 24点・素描 18点

後 期 平成6年9月13日(火)～10月23日(日)

人物画、風景画 29点・素描 18点

ウ 「鳥取県の近代美術Ⅰ 明治～大正」

会 期 平成6年11月19日(土)～12月23日(金)

<出 品 目 録>

<日本画作品コーナー>

菅 楯彦	神倉秋景図	昭和37年	158.5×98.0	紙本	著色	鳥取県立博物館
菅 楯彦	杜鵑三十石	—	48.2×60.5	紙本	淡彩	鳥取県立博物館
八百谷冷泉	短日(ざくろ図)	—	239.5×98.0	絹本	著色	鳥取県立博物館
中島 菜刀	野良仕事	—	29.9×62.4	紙本	淡彩	鳥取県立博物館
中島 菜刀	秋 景 図	—	52.3×56.3	絹本	著色	鳥取県立博物館
中島 菜刀	薫風梨園	—	45.1×52.5	絹本	著色	鳥取県立博物館

<近代美術①明治～大正>

遠藤	董	こともし	明治8年	16.1×25.8	紙	水彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	清水彦五郎像	—	65.0×50.0	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	松上鶴	明治45年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	遠山雪	大正6年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	海辺松	大正7年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	達磨	大正8年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	田家早梅	大正9年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	社頭暁	大正10年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	旭光照波	大正11年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
遠藤	董	暁山雲	大正12年	21.3×18.3	色紙	淡彩	鳥取県立博物館
森岡	柳蔵	肖像画1	大正8年	41.0×32.0	キャンバス	油彩	
森岡	柳蔵	静物(桃のある静物)	昭和5年	24.0×33.0	板	油彩	成徳小学校
森岡	柳蔵	風景	—	72.7×91.0	キャンバス	油彩	東郷町公民館
森岡	柳蔵	薬屋根の風景	—	45.0×38.0	キャンバス	油彩	国民宿舎水明荘
中井	金三	休息	明治42年頃	59.0×79.5	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
中井	金三	立葵	—	67.0×57.0	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
中井	金三	バラ	—	52.5×45.5	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
中井	金三	校庭の桜	昭和6年頃	40.0×51.5	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
木山	義喬	黒衣婦人像	—	94.2×58.5	キャンバス	油彩	倉吉博物館
木山	義喬	赤いネクタイ	大正14年	66.2×51.3	キャンバス	油彩	倉吉博物館
香田	勝太	小庭	—	23.1×32.8	板	油彩	鳥取県立博物館
香田	勝太	こぶし咲く庭	大正元年	93.5×93.5	キャンバス	油彩	
香田	勝太	早春の渡し	大正4年	33.0×24.0	板	油彩	
香田	勝太	大仙ヨリ中海ノ日没ヲ望ム	大正元年	23.5×33.0	キャンバス	油彩	
安岡	信義	夏の河岸	明治44年	45.5×61.0	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
安岡	信義	裸婦習作	大正9年	90.9×72.7	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
安岡	信義	風景(雨上がりの風景)	大正4年	33.0×45.0	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
安岡	信義	読書(緑陰)	大正4年頃	80.0×60.5	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
和田	英作	婦人像	明治44年頃	53.0×42.0	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
＜前田寛治作品コーナー＞							
前田	寛治	子供	大正10年	33.5×45.5	キャンバス	油彩	
前田	寛治	少女	大正11年	65.5×46.0	キャンバス	油彩	
前田	寛治	麦わら帽子の子	大正9年	23.7×33.4	板	油彩	
前田	寛治	花による子供	大正10年	45.5×60.5	キャンバス	油彩	
前田	寛治	子供の像	大正11年	44.5×59.2	キャンバス	油彩	倉吉博物館
前田	寛治	立てる子供	大正11年	117.0×80.5	キャンバス	油彩	鳥取県立博物館
前田	寛治	バラ	大正10年	33.0×23.8	板	油彩	
前田	寛治	風景	大正10年	23.8×32.8	板	油彩	

エ 「鳥取県の近代美術Ⅱ 大正～昭和」

会 期 平成7年1月5日(木)～2月2日(木)

＜出品目録＞

長谷川塊記	ポーズ	大正13年	ブロンズ・塑造	H110×D85×W60	館 蔵
長谷川塊記	裸婦坐像	昭和初期	木・木彫	H99.0	〃
辻 晋堂	婦人像	昭和18年	木・木彫	H129×D47×W66	〃
橋本 興家	朝 山三題の内 白馬より後立山を望む	昭和18年	多色木版	45.0×56.0	〃
橋本 興家	昼 山三題の内 白馬より後立山を望む	昭和18年	多色木版	45.0×56.0	〃
橋本 興家	夕 山三題の内 白馬より後立山を望む	昭和18年	多色木版	45.0×56.0	〃
松田 晃八	武蔵野	昭和5年代	紙・水彩	37.5×64.5	〃
松田 晃八	農家	昭和5年代	紙・水彩	52.0×68.0	〃
松田 晃八	山湖	昭和5年代	紙・水彩	43.0×56.5	〃
恩田 孝徳	塩釜神社	昭和6年	紙・水彩	27.5×35.0	個人蔵
恩田 孝徳	雪の谷川岳	昭和10年	紙・水彩	56.0×75.9	館 蔵
恩田 孝徳	白樺湖	昭和初期	紙・水彩	52.0×69.0	個人蔵
久米 福衛	少年(H少年の像)	大正4年	キャンバス・油彩	80.5×61.0	館 蔵
川上 貞夫	T子像	昭和4年	キャンバス・油彩	91.0×73.0	〃
浜田 重雄	自画像	大正11年	キャンバス・油彩	65.1×53.0	〃
浜田 重雄	黒衣婦人像	昭和2年	キャンバス・油彩	116.8×91.0	〃
浜田 重雄	襟巻した女	昭和4年	キャンバス・油彩	53.0×45.5	〃
浜田 重雄	婦人像	昭和4年	キャンバス・油彩	80.3×65.2	〃
浜田 重雄	青年像	昭和4年	キャンバス・油彩	91.0×73.0	〃
浜田 重雄	婦人像	昭和4年	キャンバス・油彩	90.9×72.7	〃
笹鹿 彪	少女	昭和13年頃	キャンバス・油彩	117.0×91.0	〃
笹鹿 彪	室内にて	大正15年	キャンバス・油彩	116.7×80.3	〃
増田 英一	板橋付近	大正11年	板・油彩	24.0×33.0	〃
増田 英一	新宿駅付近	大正11年	板・油彩	24.0×33.0	〃
増田 英一	人物	大正11年	キャンバス・油彩	73.0×101.0	〃
増田 英一	戸山が原	大正11年	キャンバス・油彩	50.0×65.5	〃
伊谷 賢蔵	下鴨の森	昭和4年	キャンバス・油彩	72.5×91.0	〃
伊谷 賢蔵	黒衣婦人像	昭和10年	キャンバス・油彩	129.8×97.0	〃
伊谷 賢蔵	燈下婦人像	昭和8年	キャンバス・油彩	90.4×72.5	〃
前田 利三	神戸寺池町	昭和13年	キャンバス・油彩	31.8×40.5	〃
前田 利三	女	昭和15年	キャンバス・油彩	27.0×34.0	〃
「前田 寛治コーナー」					
前田 寛治	裸婦	大正12年頃	キャンバス・油彩	33.5×45.5	館 蔵
前田 寛治	少女(滞欧作)	大正14年頃	キャンバス・油彩	44.5×33.0	〃
前田 寛治	繙帯をした男	大正13年頃	キャンバス・油彩	72.8×50.0	〃
前田 寛治	労働者	大正13年頃	キャンバス・油彩	117.0×91.0	〃
前田 寛治	労働者	大正13年頃	キャンバス・油彩	60.0×49.0	個人蔵
前田 寛治	西洋婦人像	大正13年	キャンバス・油彩	99.7×45.5	〃
前田 寛治	裸婦	大正14年	キャンバス・油彩	99.7×45.5	館 蔵

前田 寛治 婦人像 大正14年 キャンバス・油彩 45.7×38.4 個人蔵

オ「鳥取県の近代美術Ⅲ 戦後」

会期 平成7年2月5日(日)～3月12日(日)

<出品目録>

米本 一郎	田園風景	1963	キャンバス・油彩	97.0×145.5	県立博物館蔵
国頭繁次郎	石の顔	1962	ベニヤ・油彩	70.5×63.0	〃
国頭繁次郎	石の馬	1964	ベニヤ・油彩	163×113.5	〃
国頭繁次郎	いきもの	1962	キャンバス・油彩	130.5×162	〃
国頭繁次郎	記念碑的鳥	1968	ベニヤ・油彩	145.5×97.0	〃
笹鹿 彪	プロメテ	1963	キャンバス・油彩	145.5×112.1	〃
笹鹿 彪	風車にいでむドンキホーテ	1962	キャンバス・油彩	145.5×112.1	〃
伊谷 賢蔵	初夏	1949	キャンバス・油彩	144.5×112.0	〃
伊谷 賢蔵	室内裸婦	1949	キャンバス・油彩	193.9×130.3	〃
伊谷 賢蔵	けしと裸婦	1952	キャンバス・油彩	145.0×94.4	〃
伊谷 賢蔵	クスコの朝市	1968	キャンバス・油彩	130.3×91.0	〃
尾崎悌之助	石仏五体	1956	キャンバス・油彩	97.0×145.0	〃
尾崎悌之助	ノートルダム	1961	キャンバス・油彩	117.0×91.0	〃
尾崎悌之助	こま犬の怒り	1982	キャンバス・油彩	117.0×91.0	〃
福留 章太	アントロポス	1978	キャンバス・油彩	160.0×135.0	〃
福留 章太	アントロポス4	1980	キャンバス・油彩	160.0×135.0	〃
福留 章太	増幅する20	1976	キャンバス・油彩	182.4×193.4	〃
福留 章太	増幅する15	1973	キャンバス・油彩	182.4×193.4	〃
福留 章太	作品1	1963C	キャンバス・油彩	65.7×91.2	〃
福留 章太	作品Q	1960	キャンバス・油彩	49.8×65.0	〃
早川巍一郎	裸	1961	ブロンズ	H140.0	〃
山本 兼文	少年像(莖里)の像	1958	セメント	H120.0	〃
辻 晉堂	猫の頭	1956	陶彫	49×44×43.5	〃
辻 晉堂	タオスにて	1967	陶彫	59×67×40	〃

「前田 寛治コーナー」

前田 寛治	白い服の少女	1928	キャンバス・油彩	73.0×60.5	県立博物館蔵
前田 寛治	少女と子供	1927	キャンバス・油彩	145.5×112.0	〃
前田 寛治	棟梁の家族	1928	キャンバス・油彩	131.0×162.5	〃
前田 寛治	伏臥裸婦	1928	キャンバス・油彩	113.0×146.0	〃
前田 寛治	伏臥裸婦	1928	キャンバス・油彩	97.0×162.0	〃

(5) 近代彫刻展示・ホール

つどい	長谷川塊記	当館蔵	寒山	辻 晉堂	当館蔵
ポーズ	〃	〃	タオスにて	〃	個人蔵
裸	早川巍一郎	〃	少女	〃	〃

2 特 別 展

(1) のんのんばあが案内する「水木しげると日本の妖怪」

会 期 平成6年4月23日(土)～5月22日(日) 5/9、5/16は休館
 会 場 第1・2・3 特別展示室
 主 催 鳥取県教育委員会・鳥取県立博物館
 後 援 鳥取県各市町村教育委員会・NHK鳥取放送局
 企画協力 兵庫県立近代美術館・NHKプロモーション
 協 力 NHKちゅうごくソフトプラン
 入 館 料 一般 800円(600円)・高校生 500円(400円)・小中学生 300円(200円)

※()は団体料金

鳥取県境港市出身の水木しげるは、特異な妖怪漫画家として広く知られています。

この特別展は、彼が創りあげた妖怪たちの世界を、原画や模型、ジオラマなどを使って紹介しました。

また、併せて日本美術に見られる妖怪たちの作品を展示して、私たちと妖怪とのかかわりについて考える機会としました。

<関連行事>

ア 特別講演会

期 日 平成6年4月30日(土)
 演 題 日本美術の中の妖怪
 講 師 兵庫県立近代美術館学芸員 木下直之氏

<出品目録>

1. 古 美 術

岐阜県・崇福寺	—	付喪神絵巻
京都大学付属図書館	—	付喪神絵巻
兵庫県立歴史博物館	—	百器夜行絵巻
兵庫県立歴史博物館	—	神農絵巻
京都府京都文化博物館	—	百鬼夜行(模本)
京都大学付属図書	—	稲生物怪録絵巻(模本)
川崎市市民ミュージアム	—	化物絵巻
湯本 豪一		化物嫁入絵巻
湯本 豪一	—	錦絵化物嫁入
京都府京都文化博物館	薮 関月	妖怪十二月絵巻
財団法人 京都染織会館	阿部周防守	百怪図巻
川崎市市民ミュージアム	—	狂歌百鬼夜興
逸翁美術館		大江山絵巻(模本)
兵庫県立歴史博物館	—	酒吞童子図屏風
財団法人 白鶴美術館	—	酒吞童子絵巻
聖衆来迎寺	—	無間地獄四重五逆者罪科之図
聖衆来迎寺	—	餓鬼道飢渴苦之図

聖衆来迎寺	—	人道九不浄相之図
京都不京都文化博物館	塩川 文麟	地獄図
六道珍皇寺	—	熊野観心十界図
神戸市立博物館	寺島 良安	倭漢三才図会（第14巻）
鳥取県・正福寺	—	六道絵
大阪市立博物館	—	河童図 1
大阪市立博物館	—	河童図 2
大阪市立博物館	—	河童図 3
大阪市立博物館	—	河童図 4
大阪市立博物館	—	河童図 5
川崎市市民ミュージアム	—	水虎之図
川崎市市民ミュージアム	—	河童図
神奈川県立博物館	歌川 国芳	かっぱ
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	河童の学校
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	河童と狸々の首ひき
加藤 真彦	橘 小夢	水魔
茨城県近代美術館	小川 芋銭	河童のまぼろし
京都国立近代美術館	水越 松南	池塘一悟
富山県立近代美術館	岩崎 巴人	河童屏風・河童駒引考
水木しげる	鳥山 石燕	画図百鬼夜行
川崎市市民ミュージアム	鳥山 石燕	今昔百鬼拾遺
川崎市市民ミュージアム	鳥山 石燕	百器徒然袋
川崎市市民ミュージアム	竹原春泉斎	桃山人夜話
水木しげる	竹原春泉斎	桃山人夜話
財団法人 京都染織会館	伊藤 若冲	付喪神
奈良県立美術館	葛飾 北斎	新版浮絵化物屋舗百物語図
神奈川県立博物館	葛飾 北斎	百物語笑いはんじゃ
神奈川県立博物館	葛飾 北斎	百物語こはだ小平次
神奈川県立博物館	葛飾 北斎	百物語しうねん
神奈川県立博物館	葛飾 北斎	百物語お岩さん（模刻）
国立歴史民俗博物館	江戸川北輝	素盞鳥尊妖怪降伏之図
神戸市立博物館	歌川 国芳	腰元おつる ろくろ首
神戸市立博物館	三代歌川国	背語岡崎猫石妖怪
大坂城天守閣	歌川 国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図
神奈川県立博物館	歌川 国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図
大坂城天守閣	歌川 国芳	日本駄右衛門猫之古事
神奈川県立博物館	歌川 国芳	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図
神奈川県立博物館	歌川 国芳	大江山酒天童子酒樽之図
神奈川県立博物館	歌川 国芳	頼光大江山入之図
神奈川県立博物館	歌川 国芳	牛若鞍馬修行図

神奈川県立博物館	歌川 国芳	浅草奥山生人形異国人物
稲垣 進一	歌川 国芳	相馬古内裏
稲垣 進一	歌川 国芳	がま遷人
稲垣 進一	歌川 国芳	本朝三勇士
稲垣 進一	歌川 国芳	東海道五十三対 桑名
国立歴史民俗博物館	一勇斎国芳	外道化もの夕涼
川崎市市民ミュージアム	月岡 芳年	百器夜行
稲垣 進一	月岡 芳年	百器夜行
神奈川県立博物館	月岡 芳年	頼光四天王大江山鬼神退治之図
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 頼欲の婆々
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 白藤源太
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 楠木多門正行
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 小野川喜三郎
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 不破伴作
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 貞信公
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 大宅太郎三国
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 田原藤太秀郷
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 酒吞童子
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	和漢百物語 渡辺源治綱
大坂城天守閣	月岡 芳年	桃太郎豆蔕の図
大坂城天守閣	月岡 芳年	美勇水滸伝 木曾駒若丸義仲
大坂城天守閣	月岡 芳年	美勇水滸伝 高木午之助
大坂城天守閣	月岡 芳年	美勇水滸伝 天狗小僧霧太郎
大坂城天守閣	月岡 芳年	一魁随筆 朝比奈三郎義秀
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 おもゐつゝら
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 土岐元貞
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 為朝
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 源頼光
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 清盛
町田市立国際版画美術館	月岡 芳年	新形三十六怪撰 頼豪阿@梨
神戸市立博物館	月岡 芳年	平清盛炎焼病之図
神戸市立博物館	月岡 芳年	新容六怪撰 福原殿舎怪異之図
稲垣 進一	月岡 芳年	東京開化狂画名所浅茅が原
町田市立博物館	落合 芳機	東京開化狂画名所浅茅が原
大坂城天守閣	落合 芳機	百鬼夜行 相馬内裏
財団法人 京都染織会館	落合 芳機	東京日日新聞
財団法人 京都染織会館	橋本 貞秀	坂田金時源頼光土蜘蛛
大坂城天守閣	橋本 貞秀	源頼光公土蜘蛛妖怪図
大坂城天守閣	秀 斎	後鳥羽法王夢中にあらわれる妖怪の図
財団法人 京都染織会館	玉 園	画本西遊記

財団法人 京都染織会館	永井 香圃	妖怪図
大坂城天守閣	梅堂小国政	化物の図
川崎市市民ミュージアム	—	新版化物づくし
大坂城天守閣	長谷川小信	妖怪かるた
川崎市市民ミュージアム	—	化物共子供づくし
湯本 豪一	—	大新板化物飛廻双六
財団法人 京都染織会館	—	組上絵化物屋敷
財団法人 京都染織会館	—	燈下百鬼行列戯画
市村 次夫	高井 鴻山	妖怪図 1
市村 次夫	高井 鴻山	妖怪図 2
神田 公雄	高井 鴻山	妖怪図屏風
町田市立博物館	河鍋 曉斎	曉斎百鬼画談
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	曉斎百鬼画談
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	狂斎百図
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	曉斎漫画
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	曉斎酔画 第二編
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	曉斎純画
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	青鬼とお福のにらめっこ
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	化け物に仰天する男
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	東京開化名勝の内 一ツ家と化け地獄
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	浮世絵大津連中醉眠の図
河鍋曉斎記念美術館	河鍋 曉斎	狹客日本魂於迷府大猛勇顕
町田市立博物館	河鍋 曉斎	名鏡倭魂
湯本 豪一	河鍋 曉斎	化物嫁入絵巻
神奈川県立博物館	河鍋 曉斎	狂斎百狂どふけ百万遍
財団法人 京都染織会館	河鍋 曉斎	どふけ百万遍
栃木県立博物館	菊池 愛山	百鬼夜行図
和歌山県立近代美術館	下村 観山	魔障図
茨城県近代美術館	小川 芋銭	三味線のけいこ
京都市美術館	秦 テルヲ	降魔
加藤 真彦	橘 小夢	刺青
加藤 真彦	橘 小夢	嫉妬
山内 洋一	橘 小夢	若菜姫
兵庫県立近代美術館	水越 松南	魚魂海月
東京国立近代美術館	岩崎 巴人	バケモノ百鬼夜行図
埼玉県立博物館	—	写し絵（舞台）
大阪国際児童文学館	加太こうじ	猫車
大阪国際児童文学館	佐渡正士良	河童小僧
大阪国際児童文学館	—	紙芝居 脚立
倉吉市立倉吉博物館	高木啓太郎	写真（紙芝居）

鳥取県・正福寺	—	六道絵
鳥取市上段地区	—	十界図

2. 水木しげる原画

〈河童〉河童・ガラッパ・一目入道・水蛭・河童・カシャンボ・浪小僧・せこ・ひょうすえ・川男

〈鬼太郎の世界〉おばけ時代・鳥取県でくつろぐ鬼太郎一家・ねずみ男・地獄の建物・鬼太郎の誕生・敵の妖怪・妖怪対鬼太郎・天狐・妖怪大戦争・竜宮からの帰り・宇宙船と対決する鬼太郎・相撲をとる鬼太郎・ぬりかべ対ぬっぺふほふ・おばけレストラン・クジラと鬼太郎・妖怪講座・妖怪学校・鬼太郎の音楽会・妖怪たちにお祭り・円卓を囲む鬼太郎一家・妖怪アパート

〈不思議な世界〉ガータロ・田県神社・道通さま・はんぴどん・いやだにさん・釘抜地蔵尊・銭洗い弁天・だきつきばしら・アイヌのあの世・阿弥陀の浄土・黄泉の国・アイヌの地獄・往生要集の地獄・八大地獄

〈神々に近い方々〉夜行さん・仁王さん・方相氏・オシラ様・案山子神・行き違い神・スネカ・木の神・疫病神・辻神

〈さまざまな形を与えられた妖怪〉座敷童子・そでひき小僧・足まがり・座敷坊主・倉ぼっこ・松の精霊・塗壁・一反木綿・こなきじじい・砂かけ婆・牛鬼・雪女・寒戸の婆・二口女・魍魎・口裂け女・釣瓶落とし・網切り・べとべとさん・天井なめ・家鳴り・あかなめ・土転び・海坊主・たんころりん・ぬらりひょん・小豆洗い・ぬっぺふほふ・油すまし・コロボックル・三吉鬼・尻目・キジムナー・一本ダタラ・たくろう火

〈動物の妖怪〉山犬・海月の火の玉・九尾の狐・人魚・鎌鼬・かわうそ・そんつる

〈器物の妖怪〉鞍野郎・鉦五郎・瓶長・ぶらぶら・蓑草鞋・猪口暮露・琵琶ぶらぶら・ぼろ布団・紙舞・化け草履・鳴釜

3. 妖怪人形

見上げ入道・小豆はかり・あかなめ・河童・カラス天狗・かみきり・子なきじじい・砂かけばばあ・土転び・天井なめ・牛鬼・べとべとさん・家鳴り・ぬりかべ・一反木綿

4. 水木しげる著作

スポーツマン宮本武蔵	1	空中爆雷	1
0号作戦	1	お笑いチーム	1
マメ博士の冒険	1	恐怖の遊星魔人(復刻本)	1
不死鳥を飼う男	1	手袋の怪	1
釣り落とした魚	1	空のサイフ	1
ああ無情	1	おかしな奴	1
ボクは新入生	@ 1	アホな奴	1
画集 妖怪伝	1	画集 水木しげる幻獣辞典	1
画集 妖怪画集1	1	画集 妖怪画集2	1
エッセイ ねばけ人生	1	エッセイ お父さんの戦記	1
エッセイ 水木しげるの不思議旅行	1	鬼太郎 墓場の鬼太郎(KC)	1
ゲゲゲの鬼太郎	1 @ 1	鬼太郎 ゲゲゲの鬼太郎(文庫)	1
鬼太郎 墓場の鬼太郎(文庫)	1	鬼太郎 鬼太郎入門百科	1
鬼太郎 小説ゲゲゲの鬼太郎	1	鬼太郎 ゲゲゲの鬼太郎(KC)	1
鬼太郎 新編ゲゲゲの鬼太郎(KC)	1		

鬼太郎 ゲゲゲの鬼太郎(ソノ ラマ)	1		
鬼太郎 墓場の鬼太郎(ダイヤモンドコミックス)	1		
鬼太郎 墓場の鬼太郎(カラー版)	1	悪魔くん(KC)	1
古墳大秘記	1	つば	1
怪奇死人帳	1	忍法屁話	1
死者の招き	1	日本奇人伝	1
夜の草笛	1	河童の三平 8巻復刻版+付録冊子	9
妖奇伝 2冊復刻版	2	河童の三平 セル画3枚	3
河童の地図	1	貸本時代原画 8点	8
お化け傘 1点	1	怪談 深雪物語	1
呪われた村	1	地獄ながし	1
日の丸戦記 対談第1回	1	日の丸戦記 対談最終回	1
少年英雄鬼太郎	1	河童・狸張子面、傘	2
「地獄」表紙彩色原画 追加(貸本)	1	「古墳大秘記」原画 追加(貸本)	1
「悪魔くん」モノクロ原画 追加(貸本)	1	「猫娘」モノクロ原画 追加(貸本)	2
悪魔くん入門百科	1	合 計	78

(2) 明治維新と鳥取

会 期 平成6年10月7日(金)～11月6日(日)

会 場 第1展示室、第2展示室、第3展示室

主 催 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館

後 援 鳥取県各市町村教育委員会

入館料 一般 800円(600円)、高校生 400円(300円)、小・中学生 200円(150円)

※()は団体料金

ペリー来航に始まる幕末の変動そして明治維新の中で、鳥取県の前身である鳥取藩は大きな役割をはたした。この展覧会では、廃藩置県までの全国および鳥取藩の主要な事件を資料によって紹介し、またその中で活躍した藩主・志士たちの人物像を、遺品などで紹介した。

<関連行事>

ア 特別講演会(1)

期 日 平成6年10月8日(土)

演 題 大名家と明治維新

講 師 霞会館資料展示委員会副委員長 松 平 乗 昌 氏

イ 特別講演会(2)

期 日 平成6年10月23日(日)

演 題 民衆の見た明治維新

講 師 三重大大学教授 酒 井 一 氏

ウ 人文講座(1)

期 日 平成6年10月15日(土)

テーマ 池田慶徳と明治維新

エ 人文講座(2)

期 日 平成6年10月29日(土)

テーマ 鳥取藩士と明治維新

<展示資料目録>

第一部 幕末維新史の断面

序、池田慶徳 鳥取藩主となる(1850年)

池田慶栄肖像画	当館
池田慶徳・徳川慶喜七才肖像画	釧路市・鳥取神社
徳川斉昭肖像画	水府明徳会徳川博物館
徳川斉昭書状 (五郎麿・七郎麿宛て)	当館
池田慶徳書状(徳川斉昭宛て)4点	水府明徳会徳川博物館
藤田東湖書蹟「正気歌」	個人蔵・茨城県立歴史館寄託
藤田小四郎「正気歌」	茨城県立歴史館
弘道館記拓本	茨城県立歴史館
尚徳館記拓本	鳥取西高等学校
安政在方改革関係帳簿	当館

1、ペリー来航(1853年)

ペリー肖像画	東京国立博物館
ペリー艦隊の砲丸	下関市立長府博物館
ペリー胸飾	東京国立博物館
ペリー結婚指輪	東京国立博物館
ペリー釦及鈕章	東京国立博物館
ペリー短銃	東京国立博物館
ペリー短銃	靖国神社
ペリー提督神奈川上陸図	東京国立博物館
ペリー日本遠征記	横浜開港資料館
癸丑墨夷入津図	当館
甲寅垂夷入津図	当館
瓦版「海陸御固泰平鑑」	個人蔵
本牧表日記	当館
本牧日記	当館角田家資料
瓦版「亞墨利加蒸気車・力士力競」	横浜開港資料館
因幡国海岸絵図	当館
伯耆国海岸絵図	当館
上書建白	当館
西洋流砲台築造図	当館
賀路台場図	当館
由良台場図	当館
赤碕台場図	当館
赤碕台場図	当館
上り道台場図	当館

築地石火矢鑄立方絵図	鍋島報効会
反射炉模型	水府明徳会徳川博物館
鉄煩鑄鑑図	当館

2、桜田門外の変(1860年)

井伊直弼肖像画	彦根城博物館
徳川斉昭書状(井伊直弼宛)	彦根城博物館
吉田松陰肖像	山口県立山口博物館
吉田松陰七律	東京国立博物館
御開港横浜之全図	横浜開港資料館
あんしん要石	町田市立博物館
両四時角力取組	町田市立博物館
鹿島神と鯨	町田市立博物館
金持をゆすりにきたか大地震	町田市立博物館
持○長者腹くらべ	町田市立博物館
鯨の切腹	町田市立博物館
桜田門外の変錦絵	茨城県立歴史館
脇差 無銘(河西忠左衛門所用)	彦根城博物館
桜田事件風聞書	当館

3、八月十八日の政変(1863年)

天誅絵巻	霊山歴史館
七卿落図屏風	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
三条実美所用白綾小袖	下関市立長府博物館
武市瑞山獄中図(複製)	下関市立長府博物館
佐久間象山七言絶句	東京国立博物館
佐々木全斎書	当館
文久改工新撰京絵図	当館
敦斎と黒部権之助議論問答	当館
因幡二十士寄せ書き	当館
中山忠光書簡	下関市立長府博物館
伴林光平書	当館
尾崎健蔵遺書	個人蔵・当館寄託
尾崎健蔵筆天誅組陣地略図	個人蔵・当館寄託

4、禁門の変(蛤御門の変)(1864年)

錦絵「日本外史の内朝廷を守 護する一橋慶喜公」	浅井コレクション
池田慶徳書(堀庄次郎宛)	当館
堀庄次郎日記	当館
沖剛介日記	当館

沖剛介「掌中秘録」	当館	ヤーゲル銃	靈山歴史館
沖剛介・増井熊太上表写	当館	ミニエール銃	靈山歴史館
達書(沖剛介切腹)	当館	スペンサー銃	靈山歴史館
河田佐久馬「剛介に与える文」	当館	スナイドル銃	靈山歴史館
5、長州戦争(1864・1866年)		三匁玉火縄銃	靈山歴史館
薩英戦争絵巻	尚古集成館	スミスアンドウェッソン銃	靈山歴史館
馬関戦争絵図	下関市立長府博物館	瓦版「都風流トコトンヤレ節」	山口県立山口博物館
絵入りロンドンニュース	横浜開港資料館	子供遊端午のにぎわい	町田市立博物館
八十斤砲台模型	下関市立長府博物館	子供遊豆鉄砲の合戦の図	町田市立博物館
奇兵隊旗	東行記念館	子供遊連名附	町田市立博物館
高杉晋作討奸檄文	山口県立山口博物館	子供芝居忠臣蔵	町田市立博物館
諸隊の諭示	東行記念館	子供あそびせふぶうちの景	町田市立博物館
防長臣民合議書	山口県立山口博物館	子供あそびいくさまなび	町田市立博物館
御進発日記・米子御滞城日記	当館	三国妖狐伝	町田市立博物館
御旗旗御馬印	当館	友喧嘩	町田市立博物館
長州再征軍進発図	下関市立長府博物館	山陰道鎮撫使絵巻	立命館大学図書館
瓦版「九州小倉合戦図」	山口県立山口博物館	山陰道鎮撫使宿札	個人蔵・当館寄託
瓦版「石州口周布合戦図」	山口県立山口博物館	沖守固宛て達書	当館
瓦版「大島ぐんの図会」	山口県立山口博物館	戊辰年戦功書上	当館
瓦版「陰徳太平記新図」	山口県立山口博物館	河田佐久馬宛て感状	個人蔵
筒袖羽織(徳川家茂所用)	東京国立博物館	河田佐久間書状(母宛)	当館
池田慶徳陣羽織	当館	河田佐久馬宛加増宛行状	当館
幕末騎兵調練図	靖国神社	8、版籍奉還(1869年)	
河田佐久馬「幽居中日記」	個人蔵	榎本武揚「ないない節」	靈山歴史館
河田佐久馬「長州道の記」	個人蔵	版籍奉還上表の沙汰書	毛利博物館
6、大政奉還(1867年)		五カ条の御誓文写	当館
新選組袖章	靈山歴史館	池田慶徳領知判物	当館
坂本龍馬新政府綱領八策	下関市立長府博物館	粟米下賜状	当館
討幕の密勅	毛利博物館	控帳・政庁日記	当館
大政奉還壁画(写真パネル)	原品聖徳記念絵画館	沖守固覚書	当館
王政復古壁画(写真パネル)	原品聖徳記念絵画館	神宮親閲壁画(写真パネル)	原品聖徳記念絵画館
7、戊辰戦争(1868年)		終、廃藩置県(1871年)	
錦の御旗(旗)(有栖川宮家伝来)	東京国立博物館	廃藩置県壁画写真パネル	原品聖徳記念絵画館
錦の御旗(旗)(有栖川宮家伝来)	東京国立博物館	池田慶徳告諭(廃藩置県)	当館
錦絵「毛利嶋山官軍大勝利之図」	浅井コレクション	河田景与肖像写真	当館
錦絵「徳川治蹟年間紀事 徳川慶喜公」	浅井コレクション	河田景与権令任命辞令	個人蔵
錦の御旗(戊辰戦争絵巻)	個人蔵・黎明館寄託	鳥取藩県日記・鳥取県日記	当館
彰義隊旗	靖国神社	岩倉使節団壁画写真パネル	原品聖徳記念絵画館
アームストロング砲(複製)	佐賀県立博物館	第二部 幕末維新の人物	
ゲベール銃	靈山歴史館	1、志士の群像	

西郷隆盛肖像画	鹿児島県歴史資料センター黎明館
西郷隆盛筆武者絵	鹿児島県歴史資料センター黎明館
西郷隆盛書「敬天愛人」(複製)	鹿児島県歴史資料センター黎明館
西郷隆盛所用陣羽織	鹿児島県歴史資料センター黎明館
勝海舟筆西郷隆盛悼詩	下関市立長府博物館
大久保利通所用碁盤基石	鹿児島県歴史資料センター黎明館
大久保利通胸像	鹿児島県歴史資料センター黎明館
大久保通書	鹿児島市立美術館
木戸孝允肖像画	霊山歴史館
木戸孝允自画賛	霊山歴史館
木戸孝允所用携帯硯箱	山口県立山口博物館
高杉晋作肖像画	山口県立山口博物館
高杉晋作自画賛	東行記念館
高杉晋作所用ピストル(複製)	東行記念館
坂本龍馬書状	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
坂本龍馬所用鐔	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)
坂本龍馬愛用長崎亀山焼 湯飲・飯碗	下関市立長府博物館
因幡二十士寄せ書き	当館
因幡二十士所用剣道防具	黒坂・泉龍寺
河田佐久馬所用拳銃	黒坂・泉龍寺
河田佐久馬愛用文机	黒坂・泉龍寺
河田佐久馬宛て坂本龍馬書状 (硯海拾珠)	個人蔵
因幡二十士所用刀剣	島根・詫間樊六他四士遺蹟保存会
詫間半録肖像画	当館
詫間半録神刀図	当館
詫間半録伝書(中原忠次郎宛)	島根・詫間樊六他四士遺蹟保存会
大西清太血書	黒坂・泉龍寺
新国隊記録	当館
吉田直人烏帽子	島根・詫間樊六他四士遺蹟保存会
田村貞彦書	当館
田村貞彦書	当館
安達清風「日本原之詩」	当館
堀庄次郎書	当館
堀庄次郎建白	当館
堀庄次郎和歌	当館
沖剛介遺墨	当館
沖剛介位記	当館
増井熊太位記	当館
増井熊太書状	当館
増井熊太剣術出精帳	当館

沖守固肖像写真	当館
沖守固書	当館
沖守固画	当館
沖守神奈川県知事辞令	当館

2、著主の群像

池田慶徳所用冠	当館
池田慶徳書「道理貫心肝」	当館
池田慶徳書「忠恕」	当館
池田慶徳和歌「新年祝道」	当館
池田慶徳和歌「春日同詠」	当館
池田慶徳和歌「いくさびとの…」	当館
池田慶徳書	当館
池田慶徳「まっかげの舎の記」	当館
池田慶徳位記	当館
池田慶徳著『治国事件抄』	当館
池田慶徳・輝知・宝隆院他寄せ書き	当館
徳川斉昭書	水府明徳会徳川博物館
農人形	水府明徳会徳川博物館
徳川斉昭所用望遠鏡	水府明徳会徳川博物館
徳川斉昭書	当館
徳川斉昭書状	当館
埋木舎之記	彦根城博物館
井伊直弼筆一行物「柳緑花紅」	彦根城博物館
井伊直弼作茶碗	彦根城博物館
井伊直弼作蓋置七種	彦根城博物館
井伊直弼筆達磨画賛	彦根城博物館
茶湯一会集	彦根城博物館
仙英禅師肖像画	鳥取・景福寺
仙英禅師筆龍図	鳥取・景福寺
仙英禅師書状	彦根城博物館
顧誠鉞 仙英禅師筆	彦根城博物館
仙英禅師賀詞	彦根城博物館
徳川慶喜書「誠」	茨城県立歴史館
徳川慶喜書「欣浄」	当館
池田茂政書	個人蔵・岡山城寄託
池田茂政和歌	個人蔵・岡山城寄託
池田茂政書状(池田慶徳宛て)	当館
島津斉彬銀版写真(複製)	尚古集成館
島津斉彬書「思無邪」	尚古集成館
島津斉彬ローマ字日記	尚古集成館

弥姫齊彬和歌折本	尚古集成館	松平春嶽和歌	靈山歴史館
弥姫自画賛「山月」	個人蔵・黎明館寄託	伊達宗城書状(池田慶徳宛て)	当館
島津久光書	個人蔵・黎明館寄託	松平容保和歌	靈山歴史館
毛利敬親書	毛利博物館	有栖川宮熾仁親王肖像画	靈山歴史館
毛利元徳書	毛利博物館	有栖川宮熾仁親王書	当館
法鏡院書	毛利博物館	池田仲立書	当館
鍋島直正二行書	佐賀県立博物館	池田徳澄書	当館
浄諦院和歌	鍋島報効会	池田徳定書	当館
杏葉揚羽蝶紋散鼻紙台	鍋島報効会	池田徳定書	当館
山内容堂自画賛	靈山歴史館		

3 催 物 展

(1) 「空から見た郷土のすがた」

会 期 平成6年6月14日(火)～7月3日(日)

会 場 第2特別展示室

県立博物館と各市町村の共同事業として5年ごとに行っている「郷土視覚定点資料収集事業」によって収集された空中写真および平地写真を展示し、変化しつつある郷土のすがたを紹介した。

＜展示テーマ及び展示写真＞

1 空中写真を読む

◎鳥取市湖山地区 ◎大栄町由良宿周辺 ◎鳥取砂丘
○賀露港 ○大栄町島

2 市街地の変化

◎鳥取市市街地 ◎倉吉市市街地 ◎米子市市街地
○若桜街道 ○米子駅前 ○鳥取駅 ○富士見町 ○鳥取駅前
○県庁前(県立図書館) ○米子駅

3 都市の拡大

◎米子市周辺 ◎米子市西部 ◎淀江町淀江周辺 ◎鳥取市南部
◎倉吉市周辺(上井周辺) ◎境港市市街地
○倉吉駅 ○鳥取バイパス

4 町や村の中心集落

◎用瀬町用瀬周辺 ◎智頭町智頭周辺 ◎西伯町法勝寺周辺 ◎江府町江尾周辺
◎青谷町青谷周辺 ◎大山町大山口周辺 ◎中山町中山口周辺
○用瀬町用瀬 ○貝田のぞき谷(江府町) ○青谷町青谷 ○福部村役場付近
○旧小鹿小学校 ○泊村役場付近 ○関金町山守 ○西伯町谷川

5 産業基盤の整備

◎岩美町網代、田後、浦富、周辺 ◎鳥取市周辺 ◎北条砂丘 ◎三朝町穴鴨周辺
○田後港 ○安長地区 ○北条小学校付近 ○羽合平野 ○境港市役所付近
○淀江港 ○紙子谷バス停

6 道路整備の進展

◎溝口町溝口周辺 ◎米子市東南部 ◎東伯町浦安周辺 ◎羽合町橋津周辺
○智頭トンネル ○溝口町根雨原付近

7 実体鏡による観察

○鳥取市街地 (◎は空中写真、○は平地写真)

(2) 「鳥たちの世界」

会 期 平成6年7月22日(金)～8月21日(日)

会 場 第1特別展示室

県立博物館が所蔵するいろいろな鳥類剥製を展示するとともに、映像や音声などによる参加体験型資料を通して鳥の姿や生態を紹介する。

展示テーマ (1) 鳥たちの渡り

(2) 人里の鳥たち

(3) 守ろう、この鳥たちを

<主な展示資料>

- ・鳥類剥製 約60点 ハシブトウミガラス、オジロワシ、ヤイロチョウ、ハシビロガモ、ウミスズメ、ユリカモメ、オオセグロカモメなど
- ・鳥類模型 アホウドリ（山階鳥類研究所）、トキ、ヤンバルクイナ（内山春雄氏）
- ・鳥類生態写真パネル 約20点
- ・愛鳥キャンペーンツール（バードヒアリングセット、スライドセット、コンピューターウォッチング、クイズメカボックス、ポスターパネル、実物大トリノ、愛鳥ビデオなど）

(3) 「山本兼文遺作展」 ～描き・彫り・刻み続けた半世紀～

会 期 平成6年8月2日(火)～8月15日(月)

会 場 2階第2・第3展示室

<出品目録>

ー具象的な表現（木彫・裸婦・人物）ー

ニワトリ	1947	17.0×23.5×13.5	木・着色	第2回日本美術院小品展・行幸記念美術展	
ニワトリ	1947	20.0×24.5×14.0	木・着色	木彫近作展	
牝	1947	21.0×29.0×10.0	木・着色	木彫近作小品展	
牝		10.3×24.0×10.5	木		
帰って来た青年	1946	22.5×14.5×12.0	木	木彫個人展	
師の像	1946	22.0×15.0×11.0	木・着色	木彫個人展	
作る人	1946	22.8×13.5×12.5	木・着色	木彫近作小品展	
F女の首	1951	31.5×18.5×23.0	石膏	第36回日本美術院展	
女立像	1953	153.5×49.0×30.0	セメント	第38回日本美術院展	岩美町中央公民館
トルソー	1954	73.0×31.5×28.0	木・着色		鳥取県立博物館
女の立つ（習作）	1957	158.0×52.0×32.0	セメント	第42回日本美術院展	鳥取県立博物館
少年（荃里）の像	1958	120.0×44.0×33.0	セメント		鳥取県立博物館
裸婦座像	1958	53.0×57.0×56.0	セメント	第43回日本美術院展(奨励賞、白寿賞)	白兎会館
裸婦	1958	29.5×36.0×16.2	セメント	第46回二紀展に遺作として出品	
阿保だら	1974	35.5×31.0×23.0	セメント		
少女(A)	1977	31.2×18.0×24.2	石膏		
少女(B)		27.0×17.0×18.0	石膏		
君子の像		57.0×32.5×26.0	セメント・着色		
明日の詩	1985	108.5×22.0×12.5	セメント・着色		
女		66.5×57.0×29.0	セメント・着色		
女		51.0×40.0×39.8	セメント・着色		
明行足信相（座）	1982	51.0×27.0×19.0	セメント・着色	第36回二紀展	
明行足信相（読）	1982	45.0×33.0×14.0	ブロンズ		
明行足信相（立）	1982	112.0×29.0×16.0	ブロンズ	第36回二紀展	

明行足信相	1982	75.0×47.0×17.0	セメント・着色	
明行足信相（歌）	1983	50.0×47.0×31.0	セメント・着色	第37回二紀展
明行足信相（思）	1983	50.8×43.0×32.5	ブロンズ	第37回二紀展
明行足信相（祈）	1983	57.0×51.0×17.0	セメント・着色	第37回二紀展
ろ行足女	1984	32.0×62.0×34.0	セメント・着色	第38回二紀展
は行足女	1984	53.0×24.0×22.0	セメント・着色	第38回二紀展
加 行	1983	47.0×20.5×21.0	セメント・着色	
加 行	1983	46.5×23.0×15.5	セメント・着色	
－抽象的な表現Ⅰ（石彫）－				
巳 女	1968	46.0×32.0×23.0	石	二紀百人展
齒	1968	43.0×88.0×23.0	石	第22回二紀展示
人 間		103.0×55.0×43.0	石	
阿 と 陀	1969	82.0×53.0×35.0	石	第23回二紀展（同人賞）
む し	1969	37.5×38.5×28.5	石	第23回二紀展
人 間	1970	126.0×37.0×24.0	石	第24回二紀展
反化作三	1972	40.0×44.0×36.0	石	
母子の像	1975	188.0×34.0×36.0	石	
形 阿 弥	1975	52.0×103.0×43.0	石	
阿茶羅化	1976	100.0×53.0×43.0	石	二紀会30周年記念展
石 会	1977	105.0×60.0×45.0	石	第31回二紀展（文部大臣賞）
壺 と 凹	1989	86.0×140.0×40.0	石	第43回二紀展
で子とぼ子	1990	147.0×60.0×50.0	石	第44回二紀展

(4) 安富コレクション展Ⅲ 書と人物－

会 期 平成7年2月14日(火)～3月12日(日)

会 場 2階第1展示室

鹿野町出身の故安富寛兵衛氏が生涯にわたって収集し、平成3年に御遺族から寄贈いただいた資料を紹介する展覧会の3回目として、書蹟を中心に展示紹介した。

<主な出品目録>

- ・伝伏見天皇和歌六首 1 幅
- ・後陽成天皇消息 1 幅
- ・徳川斉昭書「銜月」 1 幅
- ・池田光仲書 1 幅
- ・香川景樹和歌懷紙 3 幅
- ・因幡二十士寄せ書き 双幅 計 75点

4 教育・普及活動

(1) 巡 回 展

展 示 テ ー マ	会 期	会 場	入場者数
空から見た郷土のすがた	6. 7. 9 ～ 6. 7. 31	あ お や 郷 土 館	453 人
	6. 8. 10 ～ 6. 8. 26	北条町歴史民俗資料館	313
地球の歴史と生物の進化	6. 11. 18 ～ 6. 12. 11	泊 村 中 央 公 民 館	256
県立博物館所蔵美術品展	6. 11. 9 ～ 6. 11. 13	西伯町歴史民俗資料館	598
	6. 11. 16 ～ 6. 11. 20	名 和 町 公 民 館	560
計			2,180

(2) 天体望遠会・見学会

事 業 名	期 日	場 所	参加人員
歴 史 と 民 俗 を 訪 ね る 会	6. 4. 15	西 伯 町	12 人
春 の 星 を 見 る 会	6. 4. 15	博 物 館 前 庭	30
野 鳥 の 声 を 聞 く 会	6. 5. 15	鳥 取 市	24
夏 の 星 を 見 る 会 (1)	6. 7. 9	博 物 館 前 庭	30
地 質 見 学 会	6. 8. 7	日 南 町	27
夏 の 星 を 見 る 会 (2)	6. 8. 13	博 物 館 前 庭	45
キノコを調べる会	6. 10. 2	若 桜 町	62
秋 の 星 を 見 る 会	6. 10. 15	博 物 館 前 庭	25
計			255

(3) 講 演 会

演 題	講 師	期 日	参加人員
日本美術の中の妖怪	兵庫県立近代美術館 学芸員 木 下 直 之 氏	6. 4. 30	36 人
特別講演会 「大名家と明治維新」	霞 会 員 館 松 平 乗 昌 氏	6. 10. 8	160
特別講演会 「民衆の見た明治維新」	三 重 大 学 教 授 酒 井 一 氏	6. 10. 23	120
計			316

(4) 講 座

事 業 名	期 日	参加人員
自 然 講 座 押し葉標本・昆虫標本の作り方	6. 7. 31	29 人
“ 標本を調べる会	6. 8. 21	173
“ 植物標本・化石レプリカの作り方	6. 9. 30～10. 1	27
美 術 講 座 「水木しげると日本の妖怪」	6. 5. 7	16
“ 「日本近代の作家たち 高橋由一・浅井 忠」	6. 6. 11	8
“ 「 “ 黒田清輝・青木 繁」	6. 6. 18	11

美術講座	「日本近代の作家たち	萬鉄五郎・岸田劉生」	6. 6. 25	9 人
〃	〃	佐伯祐三・藤田嗣治」	6. 7. 2	8
〃	〃	松本竣介・坂田一男」	6. 7. 9	8
〃	〃	吉原治良・イサムノグチ」	6. 7. 16	4
人文講座	池田慶徳と明治維新		6. 10. 15	30
〃	鳥取藩士と明治維新		6. 10. 29	30
郷土史講座	鳥取幕末史の再検討	－安政改革をめぐって－	6. 11. 27	30
計				383

(5) 資料の貸出

品 名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸 出 し 先	貸付の目的
三 郡 変 成 岩 写 真	点 1	ネガ	6. 4. 5 ～ 4. 20	船岡町教育委員会	町文化財資料作成
恐 竜 写 真	10	パネル	6. 6. 25 ～ 7. 4	気高町逢坂小学校	学習教材
昆 虫 標 本 ・ 写 真	15	標本 パネル	6. 7. 13 ～ 7. 24	気高町逢坂小学校	学習教材
昆 虫 標 本 ・ フ ィ ル ム	8	標本 リバーサル	6. 7. 31 ～ 8. 14	あおや郷土館	企画展「昆虫標本展」
ハ リ ネ ズ ミ	1	剥製	6. 9. 23 ～ 10. 8	気高町逢坂小学校	学習教材
フ ィ ル ム	8	ポジ	6. 10. 12 ～ 12. 26	鳥取県中学校教育研究会理科部会	理科資料集掲載
「 モ ン プ チ 」 「 田 園 風 景 」	1 1	米本一郎作	6. 4. 5 ～ 5. 11	倉吉博物館	特別展「米本一郎遺作展」
「スパイラルステップス」 「彷徨する虚」	1 1	茗荷恭介	6. 7. 7 ～ 7. 19	(株)鳥取ホリディ	鳥取「大地の会」展
「 自 画 像 」	1	前田寛治作	6. 8. 31 ～ 10. 31	三鷹市ギャラリー	「日本の自画像」展
「 琴 高 仙 人 図 」	1	谷 文一作	6. 10. 15 ～ 12. 6	大分県立芸術会館	「竹田とその交友たち」展
「 立 て る 子 供 」 「 静 物 」 「 裸 婦 」 「 伏 臥 裸 婦 」 「 横 臥 裸 婦 」 「 白 い 服 の 少 女 」 「 棟 梁 の 家 族 」 「 労 働 者 」 「 ブ ル タ ー ニ ュ の 女 」 「 メ ー デ ー 」	10	前田寛治作	6. 9. 15 ～ 11. 10	青梅市立美術館	開館10周年記念 「昭和洋画の先達たちー1930年協会回顧」展
線 刻 十 尊 鏡 像 線 刻 蔵 王 権 現 鏡 像 阿 弥 陀 如 来 懸 仏	1 1 1		7. 1. 18 ～ 3. 15	島根県立博物館	「鏡像と懸仏」展
馬ノ山4号墳模型	1		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31	羽合町教委	歴史民俗資料館常設展示
竪穴住居模型、青谷町 絹見出土の石斧	1 2		6. 5. 13 ～ 7. 3	あおや郷土館	青谷町の歴史展 「縄文・弥生時代の青谷」

青谷第1遺跡出土の土器片	点 6		6. 6. 2 ～ 7. 7	あおや郷土館	青谷町の歴史展 「縄文・弥生時代の青谷」
須 恵 器 (高 杯)	20		6. 7. 24	鳥取県教育委員会総務課長	職員（文化財主事）採用候補者選考試験
墨 所 土 器 他	44		6. 10. 1 ～ 7. 3. 31	国府町長	因幡万葉歴史館常設展示
船 模 型 他	7		6. 11. 9 ～ 12. 9	あおや郷土館	青谷町の民俗展 「青谷の海とくらし」展
民俗芸能記録テープ複製	2		7. 3. 3 ～ 4. 3	大阪芸術大学 馬淵卯三郎	調査研究
線 刻 十 尊 鏡 像 線 刻 蔵 王 権 現 鏡 像 阿 弥 陀 如 来 懸 仏	各1		7. 1. 18 ～ 3. 15	島根県立博物館	特別展「神仏習合の中で生まれた造形美～鏡像と懸仏展」

5 調査研究活動

(1) 調査研究

分野	事項
地学	智頭町内のおう穴についての調査研究
動物	日野川の魚類についての調査研究 久松山の昆虫類についての調査研究
考古	安富コレクション考古資料の調査研究
民俗	民俗行事（荒神、サイノカミ、トンド）、村田針の調査研究
歴史	鳥取藩幕末史についての調査研究 鳥取藩の「徳人」について 鳥取藩幕末史の再検討～安政改革の農村政策を中心に～
美術	鳥取県に関係した文化財、美術資料、ゆかりの作家・作品等についての調査研究 平成7年度特別展（里見勝蔵展）についての調査研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	回数	発行部数	規格	ページ数
郷土と博物館 第40巻	6年9月 7年3月	回 2	部 1,000	A5	ページ 32
博物館年報 No. 22	6年10月	1	400	B5	54
研究報告 第32号	7年3月	1	500	B5	48
資料調査報告書 第22集 ～旧八鳥取藩士山田本家文書～	7年3月	1	300	B5	21
博物館だより No.64～67	4・7・10・1月	4	2,500	B5	4